

部門/会場	リーダー氏名	サブリーダー 氏名		
10 階 1006・7 号室	直前ガバナー 泉 博朗	ロータリー財団委員長	宮里 唯子	茨木西
		第 3 ゾーンロータリー財団 コーディネーター補佐	溝畑 正信	東大阪東
		地区研修委員	簡 仁一	茨木
		ポリオプラス小委員長	松下 和彦	八尾中央
		次年度資金推進小委員長	大谷 隆英	大阪柏原
議事録作成者	担当SAA 森本 宏			

開会：(15時 40分)

発表者：溝畑 正信 第3ゾーンロータリー財団コーディネーター補佐

【記録内容】

日本の財団目標

●年次基金

- ・ 1人あたり150ドル（日本全体で1350万ドル）2660地区=160ドル
- ・ 全てのクラブが寄付し、寄付ゼロのクラブをなくす
- ・ ポール・ハリス・ソサエティの推進

●ポリオ・プラス基金 1人あたり30ドル（日本全体約270万ドル）2660地区=50ドル

●恒久基金 各クラブでベネファクターまたは遺贈友の会 会員1名増

●大口寄付 寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上の寄付を各ゾーン25件
（日本全体で総額100万ドル）

●地区のDDFの寄贈

- ・ DDFの20%のポリオへ寄贈
- ・ ロータリー平和センターへの寄贈

●ロータリー財団100周年について地域社会の人々に知ってもらうイベントの開催

発表者：宮里 唯子

【記録内容】

ロータリー財団100周年

●2016-17年度ロータリー財団の目標

- ・ ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上
- ・ 永久にポリオを撲滅する
- ・ 財団の補助金と6つの重点分野を通じてロータリーの人道的奉仕の室と影響を高める
（6重点分野：①平和と紛争予防・解決、②母子の健康③水と衛生、④基本的教育と識字率の向上、⑤）

●ロータリー平和フェロシップ

- 財団の資金モデル
- 財団のシェアシステム
- 財団寄付と目標
- 財団寄付額 0 のクラブを減らそう
- 年次基金寄付 150 名／恒久基金寄付はベネファクター 1 名／ポリオ・プラス 60 名
- クラブで財団 100 周年を祝う

発表者：松下 和彦

【記録内容】

「ポリオ・プラス」

- ポリオでは？プラスでは？
- ポリオ・プラスの目標＝ポリオ撲滅の世界的認定
- 日本のポリオ撲滅の経過
- 生ワクチンの由来のポリオ発症
- ポリオ撲滅の科学的根拠
- 主要戦略の 4 つのポイント
- ポリオ撲滅作戦
- 1923 年セントルイス国際大会決議 23-24
- ポリオ・プラスには目指すロータリーの姿がある
- MAKE HISTORY TODAY
- ポリオ・プラス基金への寄付

発表者：大谷 隆英

【記録内容】

「財団への寄付」

- ロータリー財団 財務情報
- 寄付の対象と用途
- 2660 地区の 2016-17 年度目標
- ポール・ハリス・ソサエティ
- メジャードナー
- 寄付の集め金
- クラブ別年次基金寄付実績
- 2660 地区 1 人あたりの年次寄付実績
- ロータリークレジットカード

閉会 (17 時 10 分)